

いざ、夢の舞台へ... —全国へ羽ばたく刈谷の高校生—

この夏、見事全国高等学校総合体育大会・文化祭に出場が決まった、市内の高等学校4つの部活を紹介します。

刈谷高校 放送部

全国高等学校総合文化祭（放送部門内・CM部門）

時 8月9日(木)・10日(金)



モットーは「楽しく」
部員は19人。普段の部活動では、作品の動画を作るため、企画・構成を考え、撮影や編集作業をしています。企画のテーマは雑談から生まれることも多く、部活の雰囲気は楽しく和気あいあいとしているそうです。

思いを形に
放送部の魅力は、伝えたいことを映像にできること。また取材でさまざまな人と関わることで、価値観や見聞を広げることができ、県大会では、地元の伝統芸能を取り上げ、子どもたちの生き生きとした表情や、新しい世代への継承の大切さを5分で表現し見事入賞。全国大会に向けて、見る人に楽しんでもらえるよう、自分たちも楽しみながら映像を作りたいと意気込みます。

刈谷工業高校 ボクシング部

全国高等学校総合体育大会ボクシング競技大会
ウエルター級 高島愛さん、バンタム級 水谷柁太さん、ミドル級 ウエノリュウイチさん

時 8月1日(木)~7日(火)

真剣勝負で
部員は17人。先輩後輩分け隔てなく、一丸となって練習しています。つらい練習も仲間と声を掛け合いながら楽しく乗り越えてきました。

強みを生かして全国へ
主将の高島さんは接近戦が得意。「悪い癖を少しずつ直しながら練習してきた結果、勝てるようになった。まずは1勝を目指したい」と話します。

カウターのサポートをしてくれたお父さん。練習のサポートをしてくれたお父さんを全国へ連れていってうれしい」と笑顔を見せました。

高身長でリーチが強みのウエノさんは「前回の全国3位という結果を超え、決勝までいきたい」と意気込みます。

話しているときは笑顔の3人も練習に入ると真剣そのもの。さらなる高みを目指して全国大会に挑みます。



刈谷工業高校 男子ソフトボール部

全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技大会

時 8月9日(木)~12日(日)



打って勝つ
部員はマネージャーを含め33人。週6日の練習では、歴代先輩から受け継いできたゴロ打ちに一番力を入れてきました。試合ではいつも積極的に点を取りに行き、打って流れを引き寄せます。

ゴロ打ち生きている
県大会決勝総盤では、連続6失点し1点差というピンチの場面も。しかし、日頃の練習で培った打撃力を生かし、ゴロとランナーをため、最後は6点の差をつけて全国の切符を手に入れました。

キャプテンの武藤さんは「昨年は初戦で負けてしまいましたが、まずは一勝し、少しでも多く試合をしたい」と力強く話しました。

刈谷高校サッカー部

ピッチを駆ける赤ダスキのユニフォームと気迫あふれるプレー。伝統あるこのサッカー部を見て、憧れを抱いた少年少女は数知れません。学校創立100周年を迎えた今年に、見事全国高等学校総合体育大会出場を決めた選手たち。全国の舞台で戦う刈谷高校サッカー部を応援しましょう。

時 8月7日(火) 10時

場 上野運動公園競技場(三重県)

対戦校 西目高校(秋田県代表)



6月2日、豊田運動公園球技場でインターハイ愛知県予選決勝リーグ第3節が行われました。この試合で、刈谷高校は名経大高蔵高校と対戦。1・2から残り5分で逆転し、全国大会への切符を手に入れました。

「新チーム発足後、最初の公式戦である新人戦で準備でき、自信がついた」と話すのは主将の中澤さん。しかし、この結果におごらず、先輩後輩関係なく、チーム全体でプレーの分析を日々行ってきたそうです。監督である佐野先生に、練習においてのこだわりはと聞くと「どんな練習をするかではなく、何を意識し、考えて練習するか」と答えました。それゆえ練習内容を選手たちが考えることもあるそうです。

目標は「昨年の先輩たちの結果である2回戦を突破すること。先輩から受け継いだ赤ダスキのユニフォームとみんなの思いを胸に、選手たちは全国大会に臨みます。」

